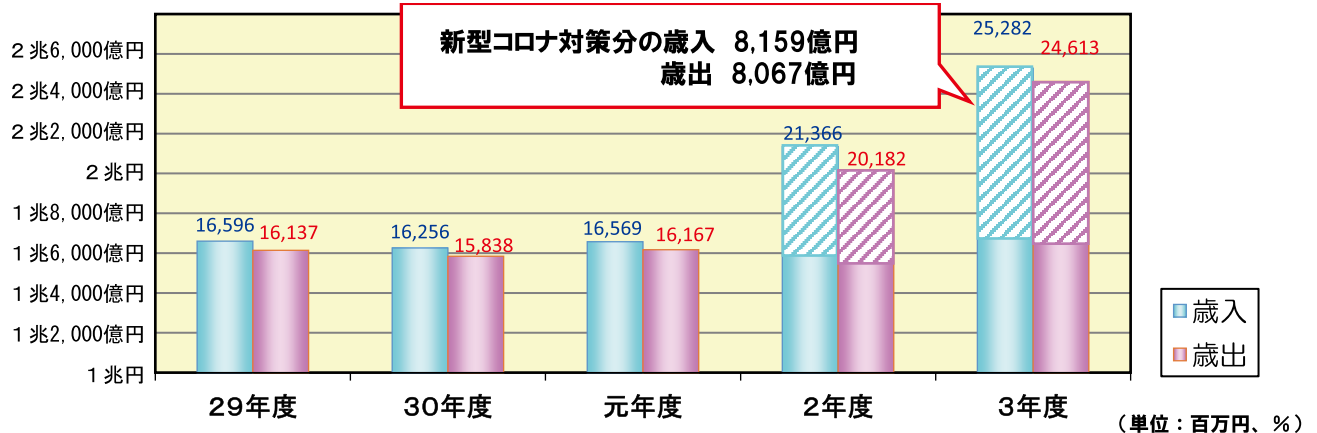


概要

- 令和3年度の普通会計決算は、新型コロナウイルス感染症（以下、「新型コロナ」と表記します。）対策の実施により、2年連続で大幅に増加し、歳入歳出ともに過去最大となりました。
（新型コロナ対策分の歳入：8,159億円、歳出：8,067億円）
- 歳入については、法人二税が堅調に推移したことや、原油価格の高騰等の影響による地方消費税の増加などにより、県税収入は増加しました。また、新型コロナ対策に係る国庫支出金や中小企業振興資金貸付金償還金が増加したことなどにより、歳入総額は前年度から3,916億円増加し、2兆5,282億円となりました。
- 歳出については、新型コロナの感染拡大防止、医療提供体制強化、事業継続の支援に引き続き取り組みました。一方で、新たな成長産業の創出、企業立地の促進、将来の発展基盤の充実など、ポストコロナに向けた取組を行うとともに、防災・減災、県土強靱化対策等の取組を行い、歳出総額は前年度から4,431億円増加し、2兆4,613億円となりました。
- 令和3年度の実質収支は、46年連続の黒字となり、黒字額は過去最高の88億円となりました。
（令和4年度に返納する新型コロナ対策分の国庫支出金及び今後精算される普通交付税を除いたもの。）

最近5年間の決算の推移



区分	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
歳入総額 (A)	1,659,600	98.0	1,625,613	98.0	1,656,890	101.9	2,136,593	129.0	2,528,210	118.3	
歳出総額 (B)	1,613,717	97.3	1,583,844	98.1	1,616,681	102.1	2,018,161	124.8	2,461,286	122.0	
形式収支 (A-B) (C)	45,883	129.3	41,769	91.0	40,209	96.3	118,432	294.5	66,924	56.5	
翌年度繰越財源 (D)	38,278	119.2	37,539	98.1	36,127	96.2	84,336	233.4	45,650	54.1	
実質収支 (C-D)	7,605	225.9	4,230	55.6	4,082	96.5	※(34,096)	7,252	※(21,274)	8,826	121.7

※令和2年度の実質収支の上段()は、令和3年度に返納する新型コロナ対策分の国庫支出金(26,844百万円)を含んだもの。

※令和3年度の実質収支の上段()は、令和4年度に返納する新型コロナ対策分の国庫支出金(6,748百万円)及び今後精算される普通交付税(5,700百万円)を含んだもの。

